

農 地 中 間 管 理 機 構 関 連
農 地 整 備 事 業

土地改良事業計画概要書（第1回変更）

（ 区 画 整 理 ）

県	名	岩	手
地 区	名	美・滝原	がし
所 在	地	一 関	市
事 業 主 体		岩 手	県

土 地 改 良 事 業 計 画 概 要 書

— 目 次 —

第1章	目的	1
第2章	地域の所在及び現況	1
第1節	地域の所在	1
第2節	現況	2
第3節	水利状況	4
第4節	営農状況	4
第5節	地域環境の概況	5
第3章	基本計画	6
第1節	計画の要旨	6
第4章	工事又は管理の要領	7
第1節	工事の施工計画	7
第2節	管理の要領	7
第3節	予定工期	7
第5章	換地計画の要領	7
第1節	換地計画樹立の必要性	7
第2節	換地計画樹立の基本方針	7
第3節	土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積	8
第4節	非農用地の換地方法	9
第6章	費用の概算	10
第7章	効用	11
第8章	他の事業との関係	11
第9章	計画概要図	11

第1章 目 的

上段：変更後
下段：変更前

本計画地域は、岩手県一関市滝原集落の東側に位置し、北は磐井川（厳美溪）、南は山間部に囲まれた地域である。

本地区の農地は、小区画、不整形の未整備区域であり、農道も狭小であることから大型機械導入の妨げとなっていることなどが効率的な営農を阻害しており、担い手への農地利用集積の阻害要因となっている。

また、水路は幹線用水路が整備されているものの、末端水路は用排兼用の土水路であることから、堆積土砂により埋塞する箇所が発生するなど、維持管理に多大な労力と費用を要している。

このような地区の問題を解消するため、農業基盤を整備し、併せて、担い手への農地集積・集約化を促進し、地域農業の発展に資するものである。

地 積

(単位：ha)

現況地目 市町村名	水 田	普通畑	樹園地	計	道水路等	その他	合 計
一関市	26.8	0.1	〃	26.9	1.3	0.9	29.1
	26.9	0.1	—	27.0	1.4	1.5	29.9

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地域の所在

岩手県 一関市 厳美町・萩荘 地内

第2節 現 況

上段：変更後
下段：変更前

第1項 地形、地質及び土壌

〃
本計画地域は標高70～90mに位置し、地形勾配は1/40～1/100程度の傾斜を成している。
地質は水積と風積による非固結火成岩及び非固結堆積岩で、土壌は黒色土壌粘土腐食型、灰褐色土壌粘土質構造マンガン型となっている。

第2項 気 象
(1) 一般気象

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 令和6年3月版)
(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成26年3月版)

観測所名	一関地域気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
観測期間	H25～R4年 H15～H24年	〃 月 ～ 〃 月 5 月 ～ 8 月	〃 月 ～ 〃 月 9 月 ～ 4 月		
平均気温 (℃)		21.2 20.5 ℃	7.6 7.3 ℃	12.1 11.7 ℃	
降水量	平均 (mm)	543.1 562.8 mm	659.3 652.4 mm	1,202.4 1,215.2 mm	
	基準年 (mm)	〃 — mm	〃 — mm	〃 — mm	
降水日数	平均 (日)	44 45 日	70 80 日	114 125 日	
	基準年 (日)	〃 — 日	〃 — 日	〃 — 日	
根雪期間		〃 月 〃 日 ～ — 月 — 日	〃 月 — 日 — 月 — 日	〃 日間 — 日間	
無霜期間		〃 月 〃 日 ～ 4 月 29 日	10 月 30 日 11 月 2 日	186 188 日間	
最多風向		〃 NNW	最大風速 (風 向)	10.7 10.0 m/s (NNW) (—)	最多風向発生時期 9月～5月 — 最大風速発生年月日 平成28年12月2日 —

(2) 特殊気象

上段：変更後
下段：変更前

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 令和6年3月版)
(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成26年3月版)

観測所名	1 位			2 位			3 位			4 位			5 位			備考
一関地域気象観測所																
観測期間	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
M34年～R4年 M34年～H24年																
最大日雨量 (mm)	285.0	S22. 7. 22	—	246.0	S23. 9. 16	—	212.0	M42. 8. 28	1/400 1/327	153.0	S61. 8. 5	1/42 1/38	153.0	S43. 8. 11	1/42 1/38	
最大時間雨量 (mm)	49.0	H6. 8. 19	1/67 1/59	45.0	S48. 6. 20	1/35 1/32	43.0	H2. 10. 26	1/26 1/24	41.0	H17. 8. 14	1/19 1/17	40.0	H3. 8. 31	1/16 1/15	
最大4時間雨量 (mm)	89.0	S41. 9. 25	1/35 1/34	87.0	H14. 7. 11	1/30 1/30	87.0	S43. 8. 11	1/30 1/30	86.0	S33. 8. 18	1/28 1/28	82.0	S56. 8. 12	1/22 1/21	
最大3日連続雨量 (mm)	318.0	S22. 7. 22	— 1/811	236.0	M43. 8. 15	1/99 1/85	223.0	H14. 7. 11	1/66 1/58	212.0	M42. 8. 28	1/47 1/42	205.0	S33. 7. 24	1/38 1/34	
最大連続旱天日数 (日)	41	S21. 7. 14	—	40	S48. 6. 24	—	35	S13. 7. 26	1/402 1/357	32	S2. 7. 31	1/96 1/87	31	S39. 7. 20	1/63 1/57	

上段：変更後
下段：変更前

第3節 水利状況

第1項 用水状況

〃
本地区の平場については、一級河川磐井川に設置された大メ切頭首工から延びる大江堰幹線水路から、丘陵地については、普通河川竹沢川やため池・溪流水から取水している。
また、水路は土水路が多く、漏水が生じており、加えて法面の崩落等が見られ、用水供給が不安定になっているとともに、水管理及び維持管理等に多大な労力と経費を費やしている状況にある。

第2項 排水状況

〃
本地区の排水は、地区内の小排水路を流下し、一級河川磐井川や大江堰幹線水路へ排水される。
地区内の小排水路は、水路深さが浅く十分な排水機能を果たしておらず、農業機械の作業効率の低下を来しているとともに、土水路が大半のため水管理及び維持管理にも多大な労力と経費を費やしている。

第4節 営農状況 専業別農家数及び平均経営耕作面積

2020農林業センサス
2015農林業センサス

項 目 戸 数			専 業	第一種 兼 業	第二種 兼 業	計	一戸 当 た り 平 均 経 営 耕 作 面 積	田	普通畑	樹園地	その他	計	地 域 指 定 等
専 兼 業 別	一 関 市	戸 数	- 1,733 戸	- 801 戸	- 5,261 戸	- 7,795 戸		1.50 1.08 ha	0.46 0.35 ha	0.05 0.03 ha	〃 - ha	2.01 1.46 ha	〃 農業振興地域 S48
		割 合	- 22.2 %	- 10.3 %	- 67.5 %	- 100.0 %		74.6 74.0 %	22.9 24.0 %	2.5 2.0 %	〃 - %	〃 100.0 %	〃 振興山村地域 S45
	本 地 区	戸 数	〃 5 戸	〃 1 戸	〃 44 戸	〃 50 戸		〃 0.54 ha	〃 0.00 ha	〃 - ha	〃 - ha	〃 0.54 ha	〃 野菜指定産地 S47
		割 合	〃 10.0 %	〃 2.0 %	〃 88.0 %	〃 100.0 %		〃 100.0 %	〃 0.0 %	〃 - %	〃 - %	〃 100.0 %	〃 酪農肉用牛 H28 〃 過疎地域 H17

上段：変更後
下段：変更前

経営農用地広狭別農家数												2020農林業センサス 2015農林業センサス		
区 分	農 家 総戸数	経営農用地広狭別農家数										耕地の分散状況		一戸当たり 平均耕地面積
		経営耕地 なし	～ 0.5ha	1.0ha ～ 1.5ha	1.5ha ～ 2.0ha	2.0ha ～ 3.0ha	3.0ha ～ 5.0ha	5.0ha ～ 10.0ha	10.0ha 以上		自給的 農家	一戸当たり 団地数	団地当たり 面 積	
〃 一関市	- 11,352	- 12	- 1,625	- 1,437	- 752	- 656	- 384	- 225	- 89		3,487 3,557	〃 -	〃 a -	201 a 146

第5節 地域環境の概況

本地区では、農地や水路に隣接する法面等の草地にはカワラナデシコの生育が、農地に隣接するため池にはキンブナ、クロサンショウウオの生息が確認されている。

第3章 基本計画

上段：変更後
下段：変更前

第1節 計画の要旨

農地の大区画化、用排水路と農道の整備を実施し、農業生産性の向上をめざす。

また、暗渠排水を施し、耕地の汎用化を促進して、農作業効率の向上を図り、土地の生産性を高める。

環境との調和への配慮として、整備区域内の法面等に生育する希少種の植物は近傍の類似環境へ移植する。また、移植が難しい希少種が生育する区域は現況保存とするなど、生態系に配慮した計画とする。

事業計画一覧表

種 別		事 業 量	摘 要
区 画 整 理	整 地 工	24.1 25.6 ha	〃 A=24.1 ha 表土扱い A=25.6 ha
	道 路 工	3,164 3,134 m	〃 〃 〃 〃 農道橋 2 基 砂利道 B=5.0 (4.0) ~4.0 (3.0)、腹付拡幅、床板橋 1 基
	用水路工	4,916 5,513 m	〃 75~300mm BF300 管水路 (塩ビ管) 75~350mm
	排水路工	3,992 3,319 m	〃 〃 BF300 鉄筋コンクリート排水フリューム 300×300~500×500
暗渠排水工		20.1 22.4 ha	〃 〃 〃 〃 〃 〃 吸水渠H=0.6m φ 50~60m/m、集水渠 H=0.6m φ 50~65m/m

上段：変更後
下段：変更前

第4章 工事又は管理の要領

第1節 工事の施工計画

1. 工事は、全て県営事業による請負工事とする。

2. 施工は、農業土木工事共通仕様書による他、特記仕様書による。

第2節 管理の要領

施工後の諸施設の管理は、照井土地改良区及び一関市が行う。

第3節 予定工期

令和元年～令和8年
令和元年～令和6年

第5章 換地計画の要領

第1節 換地計画樹立の必要性

効率的な営農を展開するため、担い手への利用権設定など利用集積の促進を図り、生産性の高い農業を実現できるよう換地計画を樹立する必要がある。

第2節 換地計画樹立の基本方針

第1項 従前地の地積の基準

換地交付の基準とする従前土地の地積は、土地改良事業計画の決定の日の登記簿地積とする。但し、上記の日から2ヶ月以内に測量士等の資格者が測量した実測図に、隣接所有者の承諾書を添付して申出があった場合は、その申出の地積とする。

上段：変更後
下段：変更前

第2項 農用地集団化の方針

区分 換地区	地帯別グループ 別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	一戸当たり目標団地数	区画畦畔の取り扱い
〃 巖美・滝原ひがし	〃 集落別集団化、 営農グループ別集 団化	〃 各人の従前の土地が最も密集した位置を基本とするが、 育成すべき経営体の経営農用地を中心として農用地集積 が図られるように配慮する。	〃 1～2団地	〃 固定畦畔

第3項 清算の方法

〃
増価額比例地積清算方式

第3節 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積

(単位：ha)

用 途	公 用 公 共 用 地				一般国有地	合 計
	国有地	県有地	市町村有地	計		
道路	〃 －	〃 －	0.5 0.4	0.5 0.4	〃 －	0.5 0.4
水路	〃 －	〃 －	0.8 0.9	0.8 0.9	〃 －	0.8 0.9
ため池	〃 －	〃 －	－ 0.1	－ 0.1	〃 －	－ 0.1
計	〃 －	〃 －	1.3 1.4	1.3 1.4	〃 －	1.3 1.4

岩手県一関市巖美町 地内

第4節 非農用地の換地方法

//
該当なし

上段：変更後
下段：変更前
(単位：㎡)

換地区名	区 分	種 類	非農用地区域の位置の概略	面 積 (㎡)	換地の手法	換地取得 予 定 者	そ の 他
全工区							
計							

上段：変更後
下段：変更前

第6章 費用の概算

単位：千円

<div>項 目</div> <div>事 業 名</div>	総 事 業 費		負 担 内 訳				備 考
	費 目	金 額	国費（62.5%）	県費（27.5%）	地 元 負 担（10%）		
					市町村（10%）	農家（0%）	
〃 県営農地中間管理機構関連 農地整備事業 〃 （区画整理）	事 業 費	650,000 640,000	406,250 400,000	178,750 176,000	65,000 64,000	〃 0	〃 国費負担の うち7.5% は推進費
	費 目	金 額	国費（0%）	県費（100%）	地 元 負 担（17.5%）		
					市町村（10%）	農家（7.5%）	
	工 事 雑 費	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	
	事 務 費	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	〃 －	
	計	650,000 640,000	406,250 400,000	178,750 176,000	65,000 64,000		

上段：変更後
下段：変更前

第7章 効 用

区 分 \ 項 目	全 体 (千円)		区画整理 (千円)		備 考
	便 益 額	所 得 額	便 益 額	所 得 額	
農業生産向上効果（作物効果）	14,242 10,742	2,153 6,397	14,242 10,742	2,153 6,397	
農業経営向上効果（営農経費）	44,292 41,484	45,475 42,419	44,292 41,484	45,475 42,419	
農業経営向上効果（維持管理）	△ 1,610 △ 1,193	260 1,124	△ 1,610 △ 1,193	260 1,124	
農業の持続的発展に関する効果 （耕作放棄防止効果）	762 3	〃 -	762 3	〃 -	
農村振興に関する効果 （非農用地等創設効果）	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	
その他効果 （文化財の調査に関する効果）	〃 -	〃 -	〃 -	〃 -	
その他効果 （国産農作物安定供給効果）	2,045 2,389	〃 -	2,045 2,389	〃 -	
合 計	59,731 53,425	47,888 49,940	59,731 53,425	47,888 49,940	総費用総便益比＝ 1.78 1.71

第8章 他の事業との関係

〃
該当なし

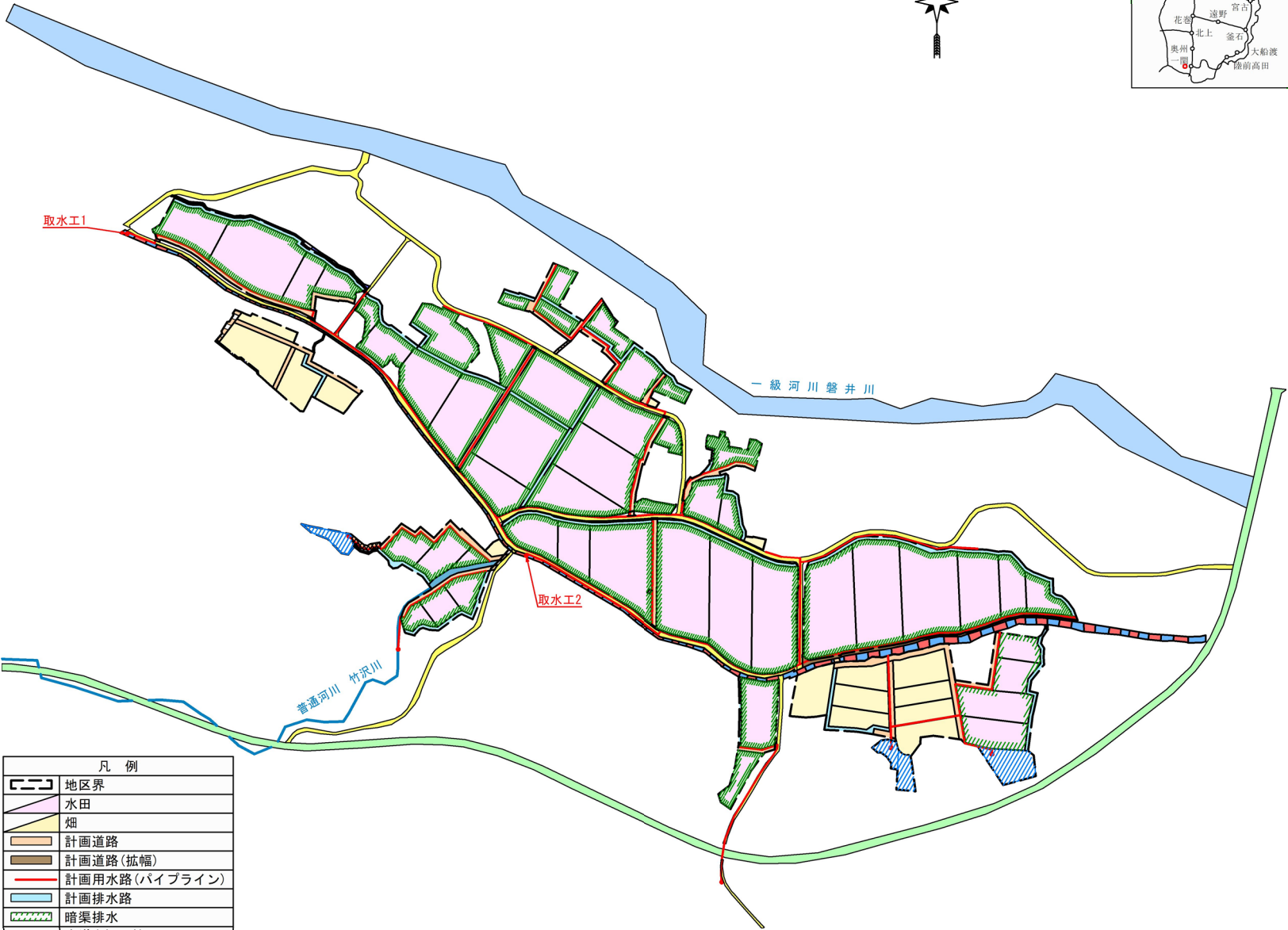
区分	事 業 名	事業主体	受益面積	工 期	事業費（百万円）	前年度までの 進 捗 率	事業との関連

第9章 計画概要図

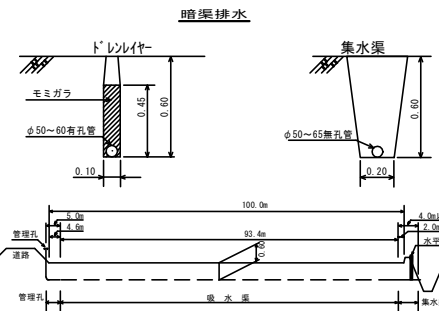
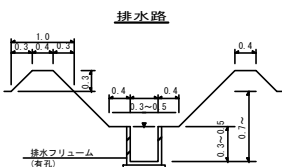
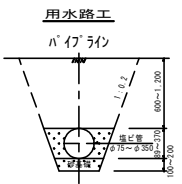
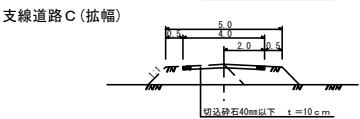
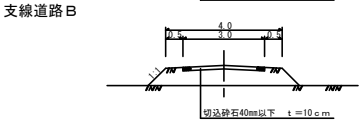
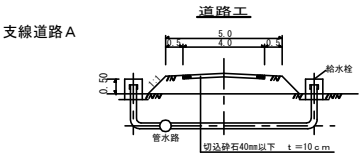
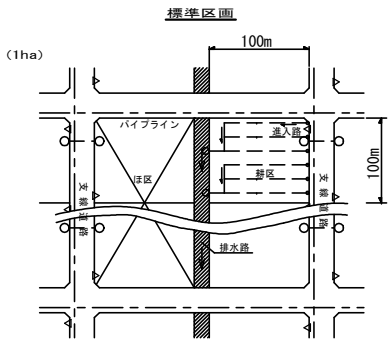
〃
別 添

変更前

厳美・滝原ひがし地区 計画概要図

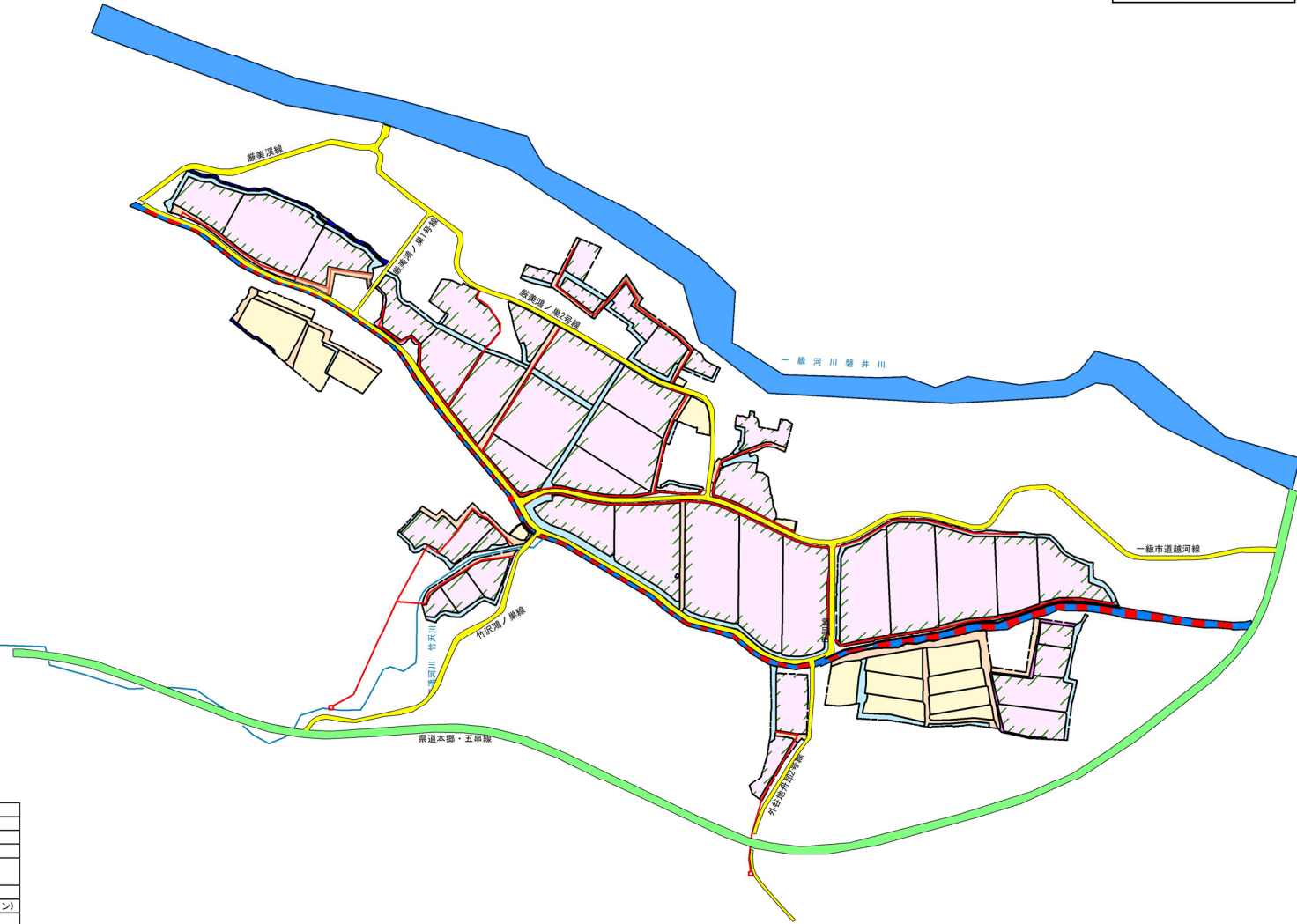
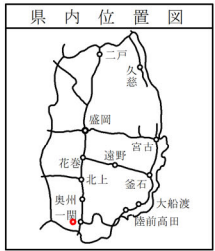


凡 例	
	地区界
	水田
	畑
	計画道路
	計画道路(拡幅)
	計画水路(パイプライン)
	計画排水路
	暗渠排水
	市道(地区外)
	県道(地区外)
	既設利用道路
	大江堰幹線水路(用排兼用)
	既設排水路
	ため池
	河川



変更後

厳美・滝原ひがし地区 計画概要図



凡 例

	地区界
	水田
	畑
	計画道路C(覆付幅)
	計画用水路(バイブライン)
	バイブライン用地
	計画用水路(開渠)
	市道(地区外)
	県道(地区外)
	計画排水路
	暗渠排水
	既設利用道路
	大江堰幹線水路(用排水兼用)
	既設排水路
	ため池
	排水流下方向
	河川
	買収区間

